

第3回農業電化シンポジウム開催要領

1. 開催予定日時 平成30年10月12日（金）13時00分～17時00分
2. 場 所 東京大学 弥生講堂
3. 名 称 第3回農業電化シンポジウム
「最新のスマート農業におけるIoT、AIの応用」

4. 目的と概要

国際的な競争の激化や就農者の高齢化対策、そして収益力向上など我が国の農業が直面する課題解決のため、各講師が農業機械、施設園芸におけるロボットの開発やIoT、AIの利用などスマート農業の研究事例や実証事例を紹介。

また、小水力発電などによるエネルギーの地産地消、スマート農業を支えるための電力インフラの必要性についても紹介し、農業と電力のシナジーによる我が国農業の競争力向上の可能性について提言を行う。

5. 講演テーマ

（テーマの名称は仮でございますので、今後変更の可能性がございます。）

- （1）フィールドにおけるIoT、AI、ロボット活用などスマート化について

農研機構 農業技術革新工学研究センター

高度作業支援システム研究領域長 八谷 満 氏

- （2）施設園芸におけるIoT、AI、ロボット活用などスマート化について

農研機構 農業技術革新工学研究センター

高度作業支援システム研究領域 高度施設型作業ユニット

研究員 内藤 裕貴 氏

- （3）ドローンなどを活用した生育状況把握、水田における水位センサーによる水路入水門の制御について

積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー

総合研究所 エンジニアリングセンター 管財グループ

部長 田中 正 氏

- （4）小水力発電などを活用したエネルギーの地産地消について

東京発電株式会社 発電サービス部 水力発電サービス営業グループ

マネージャー 和栗 淳 氏

- （5）鳥獣害対策における最新技術について

農研機構 中央農業研究センター 虫・鳥獣害研究領域

鳥獣害グループ グループ長 竹内 正彦 氏

6. ご講演時間は、1テーマで30分～35分とし5分～10分程度の質疑を予定しております。

以 上